

17世紀から18世紀のフランス王宮の響

～ダングルベール、クープラン、ラモー、デュフリ～

石川りほ
チェンバロリサイタル

2025年

4月29日 火・祝

今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-1

JR駒込駅前より 徒歩8分

主催/ムジカキアラ

全席自由

① 開演14:00

開場13:30

② 開演17:00

開場16:30

各公演70分

同プログラム

[料金] 一般 3,500円

学生 2,000円 (ムジカキアラのみ取扱)

18歳以下 無料 (ムジカキアラにてご予約ください)

[チケット発売] 2024年12月1日より発売開始

ご予約・お問い合わせ/ムジカキアラ

電話: 03-6431-8186 (平日10:00-18:00)

メール: info@musicachiar.com

[チケットぴあ] Pコード 286-107

※14時の公演は未就学児/お子様大歓迎!

17時の公演は未就学児のご入場はご遠慮下さい。



RIHO ISHIKAWA



石川りほ

チェンバロ：Riho ISHIKAWA

幼少期より古楽に関心を示しチェンバロも並行して学び、東京学芸大学卒業後チェンバロに転向。2017年フランス・リヨン国立高等音楽院に留学し、古楽科修士号を取得。これまでにピアノを奈良場恒美、三村則子、チェンバロを西山まりえ、野澤知子、ジャン=マルク・エーム、イヴ・レシュタイナー、ディルク・ベルナー、アンヌ=カトリーヌ・ヴィネー各師に師事。また日本やヨーロッパにてコリーナ・マルティ、クリストフ・ルセ、ケネス・ヴァイス、ベルトン・キューエール各師のマスタークラスを受講。2019年ポローニャ国際チェンバロコンクールで入選、2022年度フランス音楽芸術著作権管理協会アダミより奨学金を受賞。

現在はフランス、リオンを拠点に活動。リオン・オペラ座、オーヴェルニュ室内管弦楽団、マルセイユ・オペラ座と共演。また数々の古楽アンサンブルのメンバーとして、ヨーロッパ各地で演奏する。

2022年にはスイス、ヌーシャテルの美術館にて1632年製ルッカース、オリジナルチェンバロを使用しリサイタルを行う。

また演奏活動と並行し、これまでにブザンソン地方音楽院、ディジョン地方音楽院、現在はマルセイユ地方音楽院にて講師を務め、後進の育成にも励んでいる。



リサイタルへの想い

フランスに渡り、音楽と深く向き合いながら過ごした8年。30代を迎えた今、ようやく日本でリサイタルを開くことができる喜びはひとしおです。このリサイタルは、私の音楽人生における一つの大きな節目であり、これまでの学びと経験を形にする貴重な機会です。

本公演のプログラムには、私がフランス留学を決意するきっかけとなった音楽が含まれています。17世紀前半から18世紀後半にかけて、フランスの宮廷やサロンで愛された作曲家たちの作品は、その時代の美学や精神を映し出しています。ラモー、クーランなど、当時のフランス音楽は洗練された優雅さと独特の様式美を備え、時代を超えて私たちに語りかけてくる響きがあります。留学中、私は多くのオリジナル楽器に触れる機会を得ました。時代の息吹を宿した楽器の響きはもちろん、使用された木材や制作技術、楽器全体の装飾からも多くを学びました。楽器そのものが、音楽がどのように時代と共に進化し、またその時代を反映していたのかを教えてくださいました。

このリサイタルを通じて、フランス音楽が持つ時代の流れやスタイル、そしてその瞬間に生まれた「響き」を感じていただけたら幸いです。音楽の中に込められた歴史や文化、そして当時の空気感や繊細なニュアンスが、聴いてくださる皆さまの心に響き渡ることを心から願っています。

プログラム

- ・L.マルシャン：組曲ニ短調より抜粋
- ・J-H.ダングルベール：第二組曲ト短調、アルミードのパスサカリア
- ・F.クーラン：第二オールドより抜粋
- ・J-P.ラモー：新クラヴサン組曲集より トリコテ、メヌエツト、雌鶏、トリオレ、未開人、異名同音、エジプト人
- ・J.デュフリ：第二巻よりダマンジ、デリクール

プログラムは変更する可能性がありますのでご了承ください。

